

本時のねらい

- ・段落の役割について理解することができる。
- ・選んだものについて、その事例や選んだ理由について考えを整理し、相手に伝わるようにまとめることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・紙で仕上げた「すきなこまカード」を、タブレットを用いて全員で共有し、他の児童のカードの良さに気づく。
- ・「タブレットの機能を利用して、となりの小学校と交流しよう」を単元の目標とすることで、作品づくりへの目的意識を高める。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の流れを振り返る ・本時のめあてを確認する。 「あそんでみたいこまを決め、その理由を書こう」 ・どのこまが好きか、理由を書くポイントを、手本を見ながら確認する。 ポイント: ・こまの遊び方にふれて書く。 ・そのこまの面白い部分にふれて書く。 <p>【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・となりの小学校と交流することを確認し、目的意識をもたせる。 ・事前に用意した見本を、児童のタブレット端末に送り、各自で見られるようにして、良いところやポイントを確認しやすくする。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントにすきなこまを一つ書き、その理由と絵を描く。 ・出来上がったらタブレットを使って写真を撮り、提出する。 ・提出されたものを共有し、みんなのカードを見てよいところを探す。 <p>【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮る際に、自分の名前が入っていることや他校とも交流することから、個人情報やプライバシー保護についてふれ、撮影の仕方を考えさせる。(例: 名前を隠して撮ること等) ・良いところとなりの児童と共有するときに、学級のみみんなのカードを見ながら伝え合うことができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の児童の良いところをみんなで共有する。 <p>【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良いと思った児童のカードとその理由を発表し、聞いている児童は、タブレットでその児童のカードを見ながら聞く。 ・となりの小学校とも共有することを改めて確認し、共有時、自分たちが書いたものどう違うか想起させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】 カードの手本を見ながらポイントを確認



【写真2】 みんなが提出したカードについてとなりの児童と気づいたことを共有



【写真3】 他の児童のカードの良いところを発表、共有

児童生徒の反応や変容

- ・単元の最後には、となりの小学校の同じ3年生児童と交流した。児童たちは新鮮な気持ちで新たな気づきや発見につなげることができた。
- ・自分では見られなかった絵の描き方に感心したり、理由が同じ人がいて喜んでいたりした。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットを活用することで、自校にいながら他校との交流が可能となった。
- ・近隣の小学校の同じ3年生と交流するという目的があることで、意欲的に取り組むことができた。